

世 界 史 B 問 題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 16 ページある。ただし、白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答欄は裏面にもある。
5. 問題が指示する数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題冊子は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

古代の地中海世界で開花した学問や芸術は、後のヨーロッパに大きな影響を与えている。ヘレニズム時代の学問は、政治から逃避する傾向が強かったが、自然科学の分野に大きな進歩が見られ、特にアレクサンドリアに作られた学問研究所(ムセイオン)⁽¹⁾はその拠点となった。ローマの最盛期の文化は、ギリシアの文化から大きく踏み出すことはなかったといわれるが、この時代の人々が遺した学問・思想・知識などの成果は、さまざまな形で後の時代に受け継がれていった。⁽²⁾

中世になると、古代のような地中海沿岸の諸都市に展開した文化活動は大きく衰退した。しかしヨーロッパにおいては聖職者が知識人として学芸の伝統の維持に貢献し、教会や修道会が社会を指導する役割を果たした。⁽³⁾

14世紀頃から、ヨーロッパでは、古代のギリシア・ローマを模範としつつ、教会の権威にとらわれずに社会や人間について考える傾向が強まり、いわゆるルネサンス時代⁽⁴⁾が訪れる。古典の文芸の研究に始まり、すぐれた学問的業績が生み出されたほか、絵画や彫刻など⁽⁵⁾においても、写實的・躍動的な表現による多くの作品が作られた。

その後、ヨーロッパにおいては各国で強力な君主権による国家統合が進み、絶対主義の時代を迎えるが、それは必然的に人々を国家と社会の関係⁽⁶⁾に関する考察へと進めさせることになった。そして学術の分野においては、自然、人間、社会を徹底した合理的思考にもとづいて考察する、いわゆる啓蒙思想⁽⁷⁾が主流となった。また17世紀から18世紀にかけてのヨーロッパ⁽⁸⁾では、特権階層である貴族がなおも社会的優位を保つ一方で、新興の市民階層が経済力を背景に徐々に力をつけていった。

18世紀後半に生じた産業革命は、ほぼ1世紀の間に社会の様相を一変させた。綿工業に始まる技術革新は他の生産部門にも広まり、蒸気機関⁽⁹⁾の発明は産業全体のあり方に決定的な影響を与えた。こうした社会と経済における大規模な転換は、自然に対するさらに徹底した探求をうながし、19世紀ヨーロッパでは自然科学の分野で多くの成果が生み出された。⁽¹⁰⁾ 人々は新しい技術の成果を享受し、⁽¹¹⁾ さらに便利で快適な生活を求めていくようになった。

設問 1. 下線部(1)に直接関連する人物として、適切でないものを下から一つ選んでマークしなさい。

- A. エウクレイデス
- B. アルキメデス
- C. エラトステネス
- D. ヘラクレイトス

設問 2. 下線部(2)に関連して、ローマ時代の文化が後世に与えた影響に関する説明として、適切でないものを下から一つ選んでマークしなさい。

- A. エピクテトスやアウグスティヌスなどの教父たちの思想は、中世ヨーロッパの神学の発展に貢献した。
- B. エジプトの太陽暦を修正して作られたユリウス暦は、グレゴリウス暦のもとになった。
- C. ローマ法は市民法から万民法へと発展し、近代ヨーロッパ法の源流の一つとなった。
- D. プトレマイオスの天動説は、イスラーム世界を経て、中世ヨーロッパの宇宙観の基礎となった。

設問 3. 下線部(3)に関連して、中世ヨーロッパの教会の活動に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ローマ＝カトリック教会は、聖像崇拜禁止を主張して、ビザンツ皇帝レオン3世と争った。
- B. 教皇グレゴリウス1世は、聖職売買や聖職者の妻帯を批判して、神聖ローマ皇帝と争った。
- C. ベネディクト修道会の活動は、古代以来の労働観を転換させることに貢献した。
- D. シトー修道会は、主に都市での説教活動に従事した。

設問 4. 下線部(4)の時代の文化に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. オスマン帝国の脅威にさらされたビザンツ帝国から多くの学者たちがイタリアに移って、ギリシア語の知識をひろめた。
- B. マキアヴェリは、キリスト教倫理を重視する立場から君主の権力について論じた。
- C. ダンテ、ボッカチオらがローマを中心に活躍した。
- D. フランス王アンリ 4 世は、レオナルド＝ダ＝ヴィンチを招いてルネサンス文化の導入に貢献した。

設問 5. 下線部(5)に関連して、「春」「ヴィーナスの誕生」などで名高い画家の名を一つ選んでマークしなさい。

- A. ジョット
- B. ラファエロ
- C. ボッティチェリ
- D. ブルネレスキ

設問 6. 下線部(6)に関連して、17 世紀から 18 世紀初頭にかけての社会・政治思想に関する説明として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. オランダのグロティウスは、人間の自然状態を「万人の万人に対する闘い」と捉えた。
- B. フランスのボシュエは、自然法思想を国家間の関係に適用させた。
- C. イギリスのロックは、不法な統治に対する人民の反抗の権利を擁護した。
- D. ドイツのライプニッツは、神から授けられた王権は人民に拘束されないと主張した。

設問 7. 下線部(7)に関連して、ヴォルテールが執筆した、イギリスを賛美する内容の著書の名を解答欄に記入しなさい。

設問 8. 下線部(8)に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ローマのサン=ピエトロ大聖堂に代表される、華麗なバロック美術が流行した。
- B. 英語が外交や文化における国際語になった。
- C. 18世紀には、民族固有の歴史や伝統を重視するロココ美術が流行した。
- D. 茶・砂糖・コーヒーなどの消費が一般の市民に広まった。

設問 9. 下線部(9)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ワットが改良を加えた蒸気機関は、石炭の産出量を飛躍的に高めた。
- B. 蒸気機関車はバーミンガム・マンチェスター間で初めて営業運転を開始した。
- C. 外輪式の蒸気船は、19世紀の間にスクリュー・プロペラへと改良された。
- D. 鉄道は1830年代に、アメリカ・フランス・ドイツでも開通した。

設問10. 下線部(10)と直接関連しないものを下から一つ選んでマークしなさい。

- A. リンネによる植物分類学の研究
- B. コッホによるコレラ菌の発見
- C. レントゲンによるX放射線の発見
- D. メンデルによる遺伝の法則の研究

設問11. 下線部(11)に関連して、1895年に無線電信を発明したイタリアの電気技術者の名を解答欄に記入しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

現在のベトナムが位置する地域では、前4世紀頃、北部にドンソン文化⁽¹⁾、中南部でサーフィン文化といった先史文化が始まり、中国やインドの影響を受けつつ、独自の文化が発展していった。その後、秦末の混乱期には、中国南部からベトナム北部にかけて(ア)が建国され、南海貿易で栄えるが、前漢の武帝によって滅ぼされた。この時、ベトナム北部には(イ)などの郡が設置され、中国の支配のもとで、社会制度、政治制度、文化の影響を強く受けるようになる。その後、(ウ)初期に徴(チュン)姉妹の反乱が起きたが独立は果たせず、中国の支配はその後も続いた。また、現在のベトナムの中部地域には2世紀末に、チャンパー⁽²⁾と呼ばれる国が成立して17世紀まで存続し、インドと中国の間の中継貿易を担って繁栄した。

7世紀に入ると、ベトナム北部には(エ)が設置され、統治が強化されたが、反乱もあいついだ。802年頃には、チャンパーの西側にクメール人がアンコール朝⁽³⁾を建てた。

9世紀には、(エ)は雲南にあった(オ)に攻撃されて混乱した。その後もベトナム独立の動きは続き、中国の(カ)の時代に李朝が成立して、安定した体制が築かれた。これに続く陳朝は中国風の行政制度や科挙を導入し、またこの時代に独自の文字⁽⁴⁾がつくられた。またこの頃チャンパーへ侵攻して領土を拡大させたが、国力は疲弊し滅亡した。その後、胡朝がおこるが短命で終り、再び中国の支配下に約20年間置かれた。その後、黎利が蜂起し、国号を大越国と称して再度の独立を勝ちとり、黎朝⁽⁵⁾をおこした。この王朝の時代には領土拡大も成しとげたが、それはその後の南北分裂の原因にもなった。

設問 1. 下線部(1)を代表する出土品として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- | | |
|---------|----------|
| A. 彩文土器 | B. ローマ金貨 |
| C. 銅鼓 | D. 仏像 |

設問 2. 空欄(ア)にあてはまる言葉として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 昇竜 B. 南越 C. 日南 D. 林邑

設問 3. 空欄(イ)にあてはまる言葉として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 交趾 B. 真番 C. 楽浪 D. 臨屯

設問 4. 空欄(ウ)にあてはまる言葉として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 新 B. 後漢 C. 呉 D. 東晋

設問 5. 下線部(2)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 9世紀後半以降の中国名は「占城」である。
B. 王や都市はインド風の名前を持っていた。
C. 外港オケオが貿易で栄えた。
D. 15世紀にイスラームが伝播した。

設問 6. 空欄(エ)にあてはまる言葉を解答欄に記入しなさい。

設問 7. 下線部(3)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 中国では大理と呼ばれた。
B. アンコール=トムはこの国の王都の遺跡である。
C. 王はヒンドゥー教の神々と同一視された。
D. 唐に朝貢した。

設問 8. 空欄(オ)にあてはまる国名として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 驃 B. 突厥 C. 吐蕃 D. 南詔

設問 9. 空欄(カ)にあてはまる言葉として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 後梁 B. 北宋 C. 南宋 D. 元

設問10. 下線部(4)は何と呼ばれるか、漢字名称を解答欄に記入しなさい。

設問11. 下線部(5)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 朱子学を振興させた。
B. トンキン(現在のハノイ)を都とした。
C. 明と朝貢関係を結んだ。
D. 阮朝によって滅ぼされた。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

アルプス以北のヨーロッパには前6世紀頃からケルト人が住んでいた。しかし、バルト海沿岸を原住地とするゲルマン人によって圧迫され、次第に西に追われた。⁽¹⁾

ユトランドから大ブリテン島にわたったアングロ＝サクソン人は、9世紀までの間に先住ケルト人を征服して、アングロ＝サクソン七王国を建てたが、1016年にはノルマン人に征服された。その後、一時はアングロ＝サクソン系の王家が復活するものの、1066年にノルマンディー公国のウィリアムが王位を主張して攻め込み、イングランドを征服してノルマン朝を建てた。こうしたことから、イングランドでは王権が強い封建制が成立した。ノルマン朝の断絶後も、血統の関係によりフランスから入ったヘンリ2世がプランタジネット朝を開き、フランス西半部からイングランドまでを領有して、封建王政の盛期を迎えた。⁽⁴⁾

ところが、その子ジョン王は、カペー朝のフランス国王と対立してフランスの領地の大半を失い、さらに教皇とも争って破門された。破門はその後解かれたものの、財政難に陥って重税を課したため、貴族は結束してジョン王に反抗し、1215年に大憲章(マグナ＝カルタ)を王に認めさせた。ここにイギリス立憲政治の最初の基礎が築かれた。⁽⁷⁾

ほぼ1300年頃から、商業と都市が発達して貨幣経済が浸透するにつれて、封建社会のしくみは次第に衰退に向かった。経済的に困窮した領主による封建反動に対しては、大規模な農民一揆も起こった。⁽⁹⁾

ローマ＝カトリック教会は13世紀に普遍的権威を確立させた。しかしその後は各国王権の伸長にともない、教皇の権威は徐々に揺らぎ始めた。⁽¹⁰⁾

また、フランドル地方は毛織物産地として重要であったが、この地方に羊毛を輸出して利益をあげていたイギリスは、フランスの進出を阻止しようとした。さらに、フランス出身の母を持つイギリス国王エドワード3世は、フランス国王となったフィリップ6世に対して自らの王位継承権を主張した。ここに至り、両国は再び戦争に突入していった。⁽¹²⁾

設問 1. 下線部(1)に関連して、紀元前後の原始ゲルマンの社会を知る重要な資料の一つである『ゲルマニア』の著者として、適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. カエサル
- B. プルタルコス
- C. リウィウス
- D. タキトゥス

設問 2. 下線部(2)の創始者の名前として、適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ロロ
- B. リューリク
- C. クヌート
- D. アルフレッド

設問 3. 下線部(3)に際して戦いが行われた、イングランド南部の地名として、適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. カタラウヌム
- B. クレシー
- C. ポワティエ
- D. ヘースティングズ

設問 4. 下線部(4)に属するリチャード1世は第3回十字軍に参加したが、この時の遠征に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 教皇ウルバヌス2世の提唱により、遠征軍が組織された。
- B. アイユーブ朝のサラディンによって奪われた聖地の奪回を目的とした。
- C. ヴェネツィア商人の要求にせまられてコンスタンティノープルを占領した。
- D. 巡礼者保護のため、ヨハネ騎士団やtemplar騎士団が結成された。

設問 5. 下線部(5)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. パリ伯ユーグ＝カペーが開いたが、当初の支配領域はパリ周辺に限定されていた。
- B. ルイ 9 世は、異端のアルビジョワ派を征服して王権を南フランスに広げた。
- C. フィリップ 2 世は、三部会を招集して教皇に対抗した。
- D. 歴代の王はカトリック勢力と結んで王権をのぼし、12 世紀末には神聖ローマ帝国に次ぐ強国となった。

設問 6. 下線部(6)に関連して、ジョン王を破門した教皇の名を解答欄に記入しなさい。

設問 7. 下線部(7)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ヘンリ 3 世は大憲章を無視して重税を課したため、貴族の反乱を招いた。
- B. 1295 年、シモン＝ド＝モンフォールは、聖職者・貴族・騎士・市民からなる議会を王に認めさせた。
- C. 14 世紀半ばには上院と下院による二院制となり、法律の制定や新課税には下院の承認が必要になった。
- D. 騎士は地方のジェントリとして下院の勢力となった。

設問 8. 下線部(8)に関連して、この頃の社会・経済情勢に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 気候が寒冷化し、凶作や飢饉、黒死病の流行などによって農業人口は減少した。
- B. 西欧では荘園での労働力を確保するために農民の身分的束縛が強化され、独立自営農民が減少した。
- C. 社会的不安を背景に、ユダヤ人に対する迫害事件が多発した。
- D. 都市の市民たちは市場を統一する中央集権的な政治権力の出現を望んだ。

設問 9. 下線部(9)に関連して、イギリスの農民反乱の思想的指導者の一人で、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」と唱えて封建的身分制度を厳しく非難した人物の名として適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ジョン=ボール
- B. ウィクリフ
- C. フス
- D. ミュンツァー

設問10. 下線部(10)に関連して、中世後期のローマ=カトリック教会に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 教皇ボニファティウス 8 世は、アナーニ事件により憤死した。
- B. パリとアヴィニョンでそれぞれ教皇が正統性を主張し、教会大分裂(大シスマ)となった。
- C. ベーメンでは、皇帝や教皇の圧迫に抗議する住民による戦争が生じた。
- D. コンスタンツ公会議で新たに一人の教皇が選出され、教会大分裂が解決した。

設問11. 下線部(11)が開いた王朝の名を解答欄に記入しなさい。

設問12. 下線部(12)の戦争の経過に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 始めは長弓兵を駆使したイギリス軍がフランス騎士軍を破り、優勢であった。
- B. シャルル7世はオルレアンに孤立したが、ジャンヌ＝ダルクの出現により、敗勢を挽回した。
- C. 勢いを取り戻したフランス軍はイギリス軍をカレーから追放し、戦争を終結させた。
- D. 長期間の戦争は、諸侯や騎士の没落の原因となった。

〔Ⅳ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

オスマン帝国は14世紀にバルカン半島に進出し、その後も拡大を続けて、かつてのビザンツ帝国の領土を中心に広大な地域を領有する国家へと成長した。16世紀半ばのスレイマン1世の時代がこの帝国の最盛期とされるが、その後も長期にわたって安定した勢力を維持した。地中海から西アジアまでを支配下におさめたこの帝国が歴史上はたした役割は非常に大きい。

しかし18世紀以降、ヨーロッパ諸国は西アジア諸国への進出と内政干渉を強めていく。イスラーム圏では、伝統の体制が危機にさらされているという認識が広まるにつれ、ワッハーブ運動にみられるような改革の動きが各地で生じた。また19世紀半ばにはイランでも、救世主の再臨を説き、政治と社会の改革を訴える新宗教の運動が起こった。

18世紀末にナポレオン率いるフランス軍の進出を経験したエジプトでは、ムハンマド＝アリーが民衆の支持をえて自立を試み、オスマン帝国から総督の地位を承認された。しかし急速な近代化をめざしたエジプトの試みは必ずしも成功せず、19世紀の後半にはヨーロッパ列強による干渉がさらに激しくなった。このことはエジプトの人々の民族主義をさらに強めていく。また西欧諸国は植民地の獲得をめざしてアフリカ大陸の北岸からさらに南へと進出し、各地で衝突事件が繰り返された。

19世紀にはオスマン帝国政府も政治や社会の改革に着手し、西欧を手本とした近代国家への転換をめざした。しかし列強の介入に加えて、バルカン半島における諸民族自立の動きが広まり、1878年のベルリン条約においてオスマン帝国のヨーロッパ側の領土は大きく失われることになった。

第一次大戦で敗戦国となり、弱体化が明らかとなったオスマン帝国は、革命によって崩壊した。代わって登場したトルコ共和国政府は、強力な近代化路線を推進していった。また、アフリカやアジアにおける旧オスマン帝国の領土でも、各地で独立国家建設が試みられたが、これに西欧列強の介入が重なり、現在にまで影響をおよぼす複雑な状況が形作られていくことになった。

設問 1. 下線部(1)に関連して、オスマン帝国がバルカン半島に進出した際に占領し、1366年に首都とした都市の名を解答欄に記入しなさい。

設問 2. 下線部(2)に関連して、オスマン帝国に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. キリスト教徒やユダヤ教徒には一定の自治が認められていた。
- B. イェニチェリは帝国の騎士軍の中核となった。
- C. イスラーム法のほか、スルタンの名の下で発布された法が帝国全土で施行された。
- D. ウラマーがカーディーに任命されて地方行政にあたった。

設問 3. 下線部(3)に関連して、17世紀のオスマン帝国に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ハンガリーの領土をオーストリアに割譲した。
- B. レパントの海戦でスペインなどの連合艦隊に敗れた。
- C. フランス商人が、帝国領内での居住および通商の自由の権利を初めておおやけに認められた。
- D. メッカとメディナの保護権を手に入れた。

設問 4. 下線部(4)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. アラビア半島で始められた改革運動である。
- B. サウード家と結んでワッハーブ王国を建設した。
- C. 神秘主義的傾向が強かった。
- D. エジプト軍の攻撃により、ワッハーブ王国は一時消滅した。

設問 5. 下線部(5)の宗教の名を解答欄に記入しなさい。

設問 6. 下線部(6)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. フランスの援助で近代的な軍の創設や官営工場の建設などを進めた。
- B. エジプトの мамルーク勢力を一掃した。
- C. ギリシア独立戦争に際してオスマン帝国を援助した。
- D. ロンドン会議により、エジプトとシリアの世襲による統治を承認された。

設問 7. 下線部(7)に関連して、19世紀後半のエジプトに関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 1860年代からイギリス・フランスの財務管理下に置かれた。
- B. 1882年、イギリス・フランスが共同で軍事占領した。
- C. ウラービー(オラービー)は立憲制の確立をめざして反乱を起こした。
- D. 綿工業向けの綿花栽培が拡大し、ヨーロッパ市場への経済的依存が進んだ。

設問 8. 下線部(8)に関連して、19世紀末のアフリカにおける、イギリスおよびフランスの動向に関する説明としてもっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. フランスは1881年にアルジェリアを直轄領とした。
- B. フランスの横断政策は、西アフリカとジブチ・マダガスカルを連結させることを目的とした。
- C. アフリカ支配をめざすイギリスとフランスは1898年にタンジールで衝突した。
- D. フランスは1890年代末にマフディー派を壊滅させた。

設問 9. 下線部(9)に関連して、19世紀オスマン帝国に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ギュルハネ勅令により、非ムスリムに対する法的平等を宣言した。
- B. タンジマートにより、法治主義にもとづく西欧型国家への体制一新をはかった。
- C. ヨーロッパ諸国との自由な通商により、土着の産業が発達した。
- D. ミドハト＝パシャが制定した憲法は、二院制の議会の創設を定めていた。

設問10. 下線部(10)が完全な独立を承認した国名を下から一つ選んでマークしなさい。

- A. セルビア
- B. ブルガリア
- C. ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
- D. スロヴァキア

設問11. 下線部(11)に関連して、第一次大戦後から第二次大戦までのトルコに関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 第一次大戦直後にギリシア軍が侵入し、アンカラなどを占領された。
- B. トリアノン条約で治外法権を撤廃させた。
- C. 複数政党による民主的な政治が定着した。
- D. 女性が参政権を獲得した。

設問12. 下線部(12)に関連して、第一次大戦後のエジプトおよびアラビア半島の情勢に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. エジプトでワフド党を中心とする独立運動が生じた。
- B. イギリスはエジプト王国の独立を認めた後、スエズ運河地帯から軍隊を撤退させた。
- C. ヒジャーズ王国のフセイン(フサイン)がアラビア半島を統一した。
- D. イラクはフランスの委任統治期を経て独立した。